

第40回高知糖尿病チーム医療研修会のご案内

謹啓、時下、皆様方におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

第40回高知糖尿病チーム医療研修会をご案内致します。

今回の教育講演は、高知大学医学部産科婦人科学講座 准教授 池上 信夫 先生から「耐糖能異常（特に妊娠糖尿病）合併妊娠の病態と管理について」、また、高知県健康政策部医療政策課 課長補佐 松岡 哲也 先生から「高知県における糖尿病の現状と対策について」と題してご講演いただきます。

シンポジウムでは、県内各施設で糖尿病療養指導にご活躍の先生方の口述発表と総合討論を予定しております。糖尿病治療、指導に興味をお持ちの医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、栄養士、保健師、理学療法士、歯科衛生士等多数のご参加をお待ちしております。

尚、本研修会は、日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会として＜第2群＞（糖尿病療養指導研修単位）1単位を申請中です。

謹 白

第40回高知糖尿病チーム医療研修会
幹事 細木病院 片岡 典代

記

日 時：平成30年11月11日（日） 13:00～17:00

場 所：高知市文化プラザ かるぽーと 大ホール

対 象：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、
栄養士、保健師、理学療法士、歯科衛生士、その他医療スタッフ

【講師プロフィール及び講演要旨】



「耐糖能異常（特に妊娠糖尿病）合併妊娠の病態と管理について」
池上 信夫 先生（高知大学医学部産科婦人科学講座 准教授）

妊娠時における糖代謝は胎盤からインスリンに拮抗するホルモンの分泌によりインスリン抵抗性となり、妊娠後期には食後高血糖、高インスリン血症となる。インスリン抵抗性はブドウ糖、遊離脂肪酸、アミノ酸が胎盤を介して胎児に移行し、児の発育を促す。

母体高血糖が胎児に与える影響として巨大児があるが、その機序としてPedersenの仮説が有名である。その仮説を検証したHAPO studyが2008年に示された。HAPO studyは正常耐糖能及び軽度耐糖能異常妊婦を対象に、75gOGTTの血糖値と周産期合併症の関連を調べた大規模観察研究である。新生児低血糖、高インスリン血症、HFD児と母体高血糖が優位に相関することが示された。

妊娠中の耐糖能異常の分類としては、糖尿病合併妊娠、妊娠時に診断された明らかな糖尿病（overt diabetes in pregnancy）、妊娠糖尿病に分類される。診断は、妊娠初期、中期に随時血糖100mg/dl以上、もしくは妊娠中期に50gブドウ糖負荷試験で60分値が140mg/dl以上で75gOGTTを行い判定する。管理としては、妊娠中に必要な食事摂取のもとで食前血糖100mg/dl以下、食後2時間血糖120mg/dl以下、HbA1c 5.7%以下、GA 15.7%以下を目標にコントロールを行う。食事での血糖コントロールが不良の場合、インスリンを使用する。



「高知県における糖尿病の現状と対策について」
松岡 哲也 先生（高知県健康政策部医療政策課 課長補佐）

高知県では、平成30年3月に第7期高知県保健医療計画を策定し、今後、6年間の県民、医療機関、関係団体、行政が連携して進むべき保健医療の方向と目標を明らかにしました。

この計画を基盤とし、厳しい環境にある子供たちへの支援や少子化対策等に加え、「県民の誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができる高知県」を目指すために策定したものが「日本一の健康長寿県構想」であり、実現化に向けた事業と具体的な取組内容を記載しております。

糖尿病対策については、構想の5大目標の一つである「壮年期の死亡率の改善」の中の「血管病の重症化予防対策の推進」に位置づけられており、①特定健診の更なる受診向上、②糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく取組及び③管理栄養士による外来栄養食事指導の推進の3項目を中心に事業として取り組んでおります。

今回の高知糖尿病チーム医療研修会においては、県民の生活習慣の現状や患者の発生状況と受療動向について解説するとともに、「特定健診」等による発症予防の取組や医療連携を要とした糖尿病の保健指導体制である「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」の概要及び糖尿病治療のベースとして欠かせない食事指導の推進を目的とする「外来栄養食事指導推進事業」の内容について説明します。

【プログラム】

12:00～ 受付

13:00～ 13:05 開会挨拶

第40回研修会幹事 片岡 典代 先生（細木病院）

13:05～ 14:00

教育講演1 司 会 中村 寿宏 先生（細木病院）

「耐糖能異常（特に妊娠糖尿病）合併妊娠の病態と管理について」

演 者 池上 信夫 先生（高知大学医学部産科婦人科学講座 准教授）

14:00～ 15:00

シンポジウム「糖尿病療養指導の現状と実際」

司 会 篠原 雅幸 先生（細木病院 医師）

濱田 三紀 先生（高知大学医学部付属病院 看護師）

① 西岡 政道 先生（桑名歯科診療所 歯科医師）

「糖尿病患者における医科歯科連携のために」

② 宮部 祐輔 先生（あじさい薬局 北本町店 薬剤師）

「認知症、独居の高齢患者さんに対する他職種協働でのインスリン治療管理」

③ 杉本 由里 先生（高知記念病院 看護師）

「糖尿病外来における受診中断患者への取り組み」

④ 川村 佳代 先生（近森病院 看護師）

「当院入院中の低血糖に対する取り組み ～低血糖よ さらばじゃ!!～」

⑤ 坂本 一美 先生（高知医療センター 管理栄養士）

「当院における糖代謝異常妊婦への栄養管理について」

⑥ 松田 智博 先生（細木病院 理学療法士）

「教育入院における理学療法士からの心理的アプローチ
～教育入院中に膵臓癌を指摘された患者に対する運動療法を通じて～」

15:00～ 15:05 休憩

15:05～ 15:30

ポスターセッション（上記シンポジウムをポスターにて質疑応答）

15:30～ 16:00 総合討論

16:00～ 16:55

教育講演2 司 会 西岡 達也 先生（細木病院）

「高知県における糖尿病の現状と対策について」

演 者 松岡 哲也 先生（高知県健康政策部医療政策課 課長補佐）

16:55～ 17:00 閉会挨拶

第40回研修会幹事 片岡 典代 先生（細木病院）

参加申込書

高知糖尿病チーム医療研修会 事務局

〒781-5103 高知市大津乙2705-1

高知高須病院 栄養部

TEL 088-878-3377

FAX 088-878-3322

Email:dm-takasu@takasuhp.or.jp

※ この用紙に同一施設・複数名で、ご記名願います。

歯科医師会会員の先生方へ

ご出席の際には、日歯生涯研修事業ICカードを必ずご持参ください。

ICカードを忘れると、研修会の研修単位登録は自己申告で行うこととなります。

ご施設名：

ご施設名住所：〒

電話番号：() -

1. 申込み代表者名	ご職種
2. ご芳名	ご職種
3. ご芳名	ご職種
4. ご芳名	ご職種
5. ご芳名	ご職種
6. ご芳名	ご職種
7. ご芳名	ご職種
8. ご芳名	ご職種
9. ご芳名	ご職種
10. ご芳名	ご職種

講師の先生にお聞きしたい点、ご質問がありましたら事前にご記入ください。

足りない場合、用紙をコピーしてご記入の上、FAX してください。

【その他の連絡事項】

1. 参加費 お一人様 1,000円を受付にて申し受けます。
2. 参加申し込み方法 住所・氏名・施設名・職種・電話番号を記入の上、FAX又はE-mailにて申し込み願います。
3. 参加申込先 〒781-5103 高知市大津乙2705-1 高知高須病院 栄養部

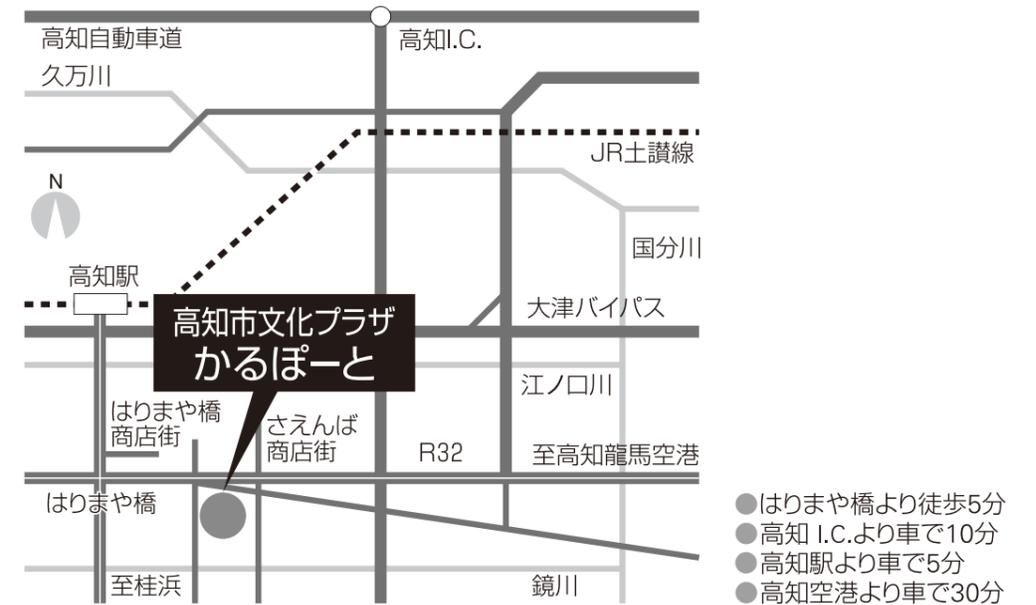
Fax 088-878-3322

TEL 088-878-3377

Email:dm-takasu@takasuhp.or.jp

4. 申込締切日 平成30年10月26日(金)
5. 当セミナーは、下記の研修認定単位を取得することができます。
 - ・日本医師会生涯教育講座(2単位)
 - ・日本薬剤師研修センター 認定単位(2単位)
 - ・日本病院薬剤師会生涯研修制度(2単位)
 - ・日本臨床衛生検査技師会履修点数(基礎-20点)
 - ・日本栄養士会 生涯教育(1単位)
 - ・日本歯科医師会 生涯研修制度単位認定(4単位)
 - ・日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修<第2群> 1単位
 - ・日本糖尿病協会登録医・療養指導医制度のための講習会
 - ・日本糖尿病協会 歯科医師登録医のための講習会
 - ・高知県糖尿病療養指導士単位認定(4単位)
 - ・日病薬病院薬学認定薬剤師制度(2.5単位)

6. 会場案内図



共催：高知糖尿病チーム医療研修会
高知県糖尿病対策推進会議
高知県医師会
高知県糖尿病療養指導士会
田辺三菱製薬株式会社

第一三共株式会社
公益社団法人高知県栄養士会
公益社団法人高知県薬剤師会
高知県病院薬剤師会

後援：公益社団法人高知県看護協会
(社)高知県臨床検査技師会
公益社団法人高知県理学療法士協会
高知県歯科医師会